

## 参考資料5 観点「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」のペーパーテストの作成のポイント

### 1 選択技法 ペーパーテストの問題作成のポイント

観点「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」(\*)の選択技法のペーパーテスト作問は、「知識・技能」の一問一答の正解式でなく、選択肢の設定方法を工夫する必要がある。

例えば、設問に対する回答の仕方を、問題例に示す例のどれを選んでも良いが、選択肢を選んだ理由が明確であればOKとするなど、いろいろな選択させる仕方を工夫して作成すると良いでしょう。

従来の「知識・技能」の一問一答式や線結びの、決まった回答を求めるのではなく、ある程度の選択の幅が許されるように工夫する必要がある。

採点が面倒になるが、AI技術を活用した採点方法の研究が今後に求められる。

\*ここでの観点「主体的に学習に取り組む態度」は、技術分野の目標にある(3)の「実践的な態度」を想定して扱っていく。

### 2 自由記述式法 ペーパーテストの問題作成のポイント

自由記述法のテストの作問は、選択肢のように、「主体的に学習に取り組む態度」(ここでは、技術分野の目標にある(3)の「実践的な態度」を想定して扱う)の場面設定を限定的でなく、ある程度幅広く設定出来ます。

しかし、採点に時間がかかるので、定期考査には不向きですが、定期考査で出題の場合は、採点し易いように工夫する必要があります。

定期考査でなく、まとめの時間などで、ペーパーテストを実施する方法もあります。